

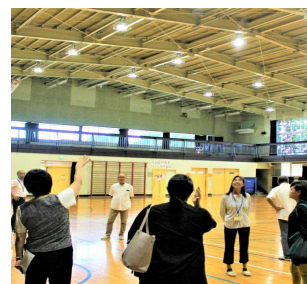


令和6年度第2回境西中学校学校運営協議会を、9月20日(金)に、境西中会議室において開催しました。中島会長、梅堀校長からご挨拶をいただき、委員の皆様には授業参観をしていただきました。

この日は、2年生は翌週から行う「チャレンジウィーク」事前打ち合わせのため、校外に出ていたので、1年生(歯科衛生士の方による授業)と3年生の授業参観を行いました。また、エアコンやLED照明のついた体育館や、新しく開設したPルームをご覧いただきました。

会議に戻り、まず梅堀校長から境西中の現状を、以下の点から報告していただきました。境西中をより良くしていくため、委員の皆様から感想やご意見をいただき、大変有意義な会議となりました。

- ・第1回学校評価アンケート結果より
- ・全国学力・学習状況調査(国・数 3年生対象)
- ・家庭・地域・剛志小との連携
- ・目指す生徒像(自ら学ぶ生徒、思いやりのある生徒、たくましく生きる生徒)に向けた取り組み
- ・令和7年度に向けた学校経営について
- ・Pルーム(相談室から名称変更)について



1、学校運営協議会より

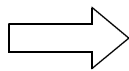
(1) 境西中学校の取り組みや各調査結果の報告と課題について

(梅堀校長)

	◎良かった点	△課題点
学 習 面	・授業に満足感・達成感を感じている生徒が多く、個別最適な学びによる指導(数学→少人数指導、AIドリルの活用による反復学習等)の効果が高いと言える。 【3年生対象 学力学習状況調査より】 ・国語…文章理解、書く表現能力が高い ・数学…基本的な計算、数学的問題解決や思考力が高い。 ・国語、数学とも全国平均よりも5~10ポイント高い。	・家庭学習に取り組む姿勢は、生徒・保護者とも目標値を下回っている。強制的ではなく、自主的に学習に取り組めるよう、教師は課題設定の工夫をする等、家庭にも協力をお願いする。 ・保護者は、学習における基礎基本の定着は、やや目標値より下だと感じている。 【3年生対象 学力学習状況調査より】 ・国語…相手の話を質問しながら内容をとらえ、考えを分かりやすく伝える力に課題がある。 ・数学…証明問題に課題がある。問題を吟味し、答えを見直す等の反復練習をする。
生 活 面	・学校の清掃活動を、生徒はとても良くやっている。 ・昨年度の自転車事故の発生日から、4月の自転車点検ではサドルの高さ(一時停止した時に、足が地面に着く)を見直した。現時点での事故発生件数は、0件である。 ・朝食をとる生徒が全国平均より高い。朝の基本的習慣が身につけているのは、家庭で健康に気遣ってくださっているお陰だと言える。 ・日々の学校生活や、行事を通して、思いやりの心が成長している。 ・過日、生徒会選挙が行われた。1、2年生合わせた立候補者は生徒数の1割にもなった。これは、前生徒会の生徒達が、楽しく意欲的に活動していた事が理由に挙げられる。また、3年生も下級生の頑張りに触発され、自分達も頑張ろうという、良いスパイラルが生まれている。	・言葉遣いについては、生徒や保護者は良くできていると思っているが、教師の評価はやや低かった。時と場合に応じた言葉遣いができるよう、日々の生活や部活の中で指導していきたい。またチャレンジウィークでの社会勉強はとても良い学習機会となる。 ・保護者は、清掃活動をあまりやっていないと感じている。家庭では「自分がやらなくて良い。」という考えがあるのか、保護者に頼りがちになっているようだ。家庭でもルールや役割があると良いのではないだろうか。 ・6割の生徒が、6時間以上の睡眠時間が確保されている。塾や習い事等で、就寝時間が遅くなる場合もあるようだが、睡眠不足によるマイナス面(疲労、体調不良、集中力の低下)について、今後も指導していきたい。
そ の 他	・ほとんどの生徒が、学校が楽しいと感じている。 ・登校がやや難しい生徒は、Pルーム(相談室から名称変更)を活用している。 ・保護者と学校は良く連携していると高い評価である。紙や電子媒体で、学校の様子を発信している。 ・小・中合同あいさつ運動、特別支援学校との交流(2年生)、保育園訪問(3年生)、地域貢献活動として御嶽山クリーン作戦(3年生 3学期予定)、公民館企画事業・夏休み小学生絵画教室において、美術部有志の生徒が小学生をサポートをする等、地域と連携を深めた活動をしている。 ・夏休みに、小・中合同の職員研修を行い、支援の必要な児童生徒への指導法等を学んだ。	・教師に相談しやすいと感じる生徒がやや少ないので、西中ノートや生活アンケート等、日々のコミュニケーションから生徒に寄り添う支援を引き続き行う。 ・進路について、親子間の話し合いは、生徒が十分話し合っている数値が低くなっている。生徒から親に話しかけられるよう、学校からも話題を与えていきたい。 ・将来の夢や希望について、教師に相談できる環境づくり(未来力学習講座、チャレンジウィーク等)から、個人の長所を把握した個別最適な指導を続けていく。

令和7年度の学校経営に向けて 移行期間として見直しや検討をしているもの

新1年生 単学級
特別支援クラス 2クラス
合計7クラス
職員数が今年度より2名減が考えられる



- ・委員会の数や、生徒会人数の縮小
- ・学校行事（体育祭、合唱コンクール等）の見直し
体育祭…1、2年生はクラス対抗戦をなくし、個人種目と団体種目で競う。
合唱コンクール…競うのは各学年、自由曲のみ。
課題曲は1、2年は合同発表
3年生の課題曲は学年発表
- ・部活動の数など

2、剛志学府連携協議会より

(1) 1学期の剛志小学校の取り組みと課題について（学校評価アンケートより） (三木校長)

◎良かった点	△課題点
・学校が楽しい、楽しく学校に通っていると感じる児童や保護者は、95%と高い評価であった。多くの児童は元気に楽しく学校生活を送っている。今後もきめ細かに、一人一人の子供の状況を把握し、心情に寄り添い、支援を続けていきたい。 ・学期の始まりなど、やや登校に不安を感じる児童も見られるが、家庭との連携を密にして、その都度児童に寄り添う指導を続けている。 ・小学校もPルームを設置している。活用したい。	・家庭学習の取り組み方（意欲）は、親子間でギャップがある。実態を把握しながら、指導を継続していきたい。 ・児童は進んであいさつをしていると思っているが、親子間でギャップがある。地域の方や交通指導員さんから、時々ご指摘をいただいている。しかし、心の中で言っている、なかなか声に出せない子もいるので、大らかな気持ちで見守っている面もある。その一方で、公民館でトイレを借りる時等に、きちんと事務室の方に声をかけ、お礼が言える児童もいるとお褒めの言葉をいただいている。 ・学校から配布されるプリントが多いので精選し、タブレット配信も一部始めたが、文書での配布を希望する家庭もあり、紙媒体と電子媒体で発信するプリントの選別を、改めて検討したい。



小・中合同あいさつ運動

子供たちは、様々な状況を抱えて学校生活を送っている。今の良い状況に過信することなく、子供たちの身体的・心理的な安全を確保しながら、安心して自分を発揮できる場所であり続けられるよう、全職員で協力して取り組んでいきたい。

(2) 剛志学府の取り組みについて

(町田館長)

「剛志学府」は、境公民館が核となって、人づくりや地域づくりを進めています。昨年度取り組んだ事業と、今年度予定しているものをご説明いただきました。

(令和5年度の活動内容)

- ・夏休み子供絵画教室・花結び教室
(境西中美術部有志が、アシスタントとして参加)
- ・剛志地区住民交流会
(剛志小児童、西中生徒が放送係として協力)
- ・剛志地区米寿・喜寿祝賀会
(剛志小6年生がメッセージカードを作成し、民生委員さんに記念品と一緒に届けていただいた)
- ・フードドライブ事業
(剛志小、境西中、公民館において、242個の物品を集め、社会福祉協議会に届けた)
- ・小・中学校ジャージ、制服のリサイクル事業
- ・境西中学校内書き初め大会の開催
(学校運営協議会の委員が優秀作品を選考し、表彰した)

☆今年度は、令和5年度の活動に加え、県自然史博物館の『移動博物館』共催事業への申し込みを検討しています。

☆フードドライブは、12月もしくは、2月の実施を考えています。実施が決まりましたら、チラシを小・中学校、地域に配布する予定です。



昨年度のフードドライブの様子

3、その他

(今後の予定)

第3回学校運営協議会は、小学校の学校評議委員会との合同会議となります。(11/22予定)

学校・家庭が両輪となり、地域も加わって三輪となります。これからも、何か課題があれば学校から発信していただき、地域も共に解決していけるような、連携と協働をこれからも進めていけたらと思います。

